

# 議会だより

## しらたか

2020年1月15日発行  
(令和2年)

Vol.145

山形県白鷹町議会

12月定例会



「スイング!スイング!スイング!」

荒砥高等学校吹奏楽部 11頁に関連記事

政策提言提出	② p
災害復旧に7690万円 補正予算質疑	④ p
ここが聞きたい 一般質問・議員が町政を問う	⑥ p
シリーズ企画 知れば得する“ぎかい”のキホン	⑪ p
追跡レポート 政策提言は活かされたのか	⑭ p
インタビュー 白鷹の未来を彩る	⑯ p

お手持ちのパソコンやスマホ等で  
議会中継をご覧ください。  
録画でもご覧いただけます。



この広報は、議員の自主編集で発行しています。

# 町に3つの提言



実効性のある取り組みを

政策提言書の全文は、ホームページに掲載しています。



## 提言3 白鷹町の活性化について

1. 多様な就労ニーズや働く場の確保をはかること。移住・定住を促進するため、町内の産業・企業等の情報発信を行うとともに、企業支援策等を構築・推進すること。
2. 森林境界明確化事業を加速させ、緑の循環システムの確立を進められたい。また、町産材の木材加工品や住宅用材等への利用拡大を促進すること。
3. 東北中央自動車道の開通に伴い、本町への誘導等に向けた施策を展開すること。定住自立圏構想等、広域での利点を生かし推進されたい。
4. 地域づくり推進交付金の継続により、地域課題解決や活性化に向けた取り組みに対し、積極的に支援されたい。



みんなで楽しくゴミ拾い  
地域の課題を解決！

地域づくり推進交付金を活用した、  
スポGOMI大会 in 蚕桑（※）

（※）：全国的に展開しているゴミ拾いイベント

# 令和元年 新しい時代の幕開けに

## 政策提言書を提出

白鷹町議会では、各常任委員会（総務厚生・産業建設）において、それぞれの所管事項に関する町の課題等について協議し、令和元年11月29日、町長に政策提言書を提出しました。

### 提言1 人口減少対策について

1. 子育てに対する経済的支援の充実、土日等の保育や病児・病後児保育等の子育て環境の充実、子育て世帯の転入・移住の推進をはかること。
2. 活発な事業展開により、移住・定住人口の増加をはかること。特色ある支援策を実施し、他市町との差別化をはかること。
3. 学校、家庭、地域が連携し、郷土教育を推進すること。将来の人材育成・確保につながる施策を講ずること。



紅花と郷土愛を育てます

### 提言2 安全・安心で住みよいまちづくりについて

1. 地域の実情に応じた機動的な除排雪を実施すること。児童生徒や高齢者に配慮した思いやりのある除雪体制を確立すること。
2. まちづくり複合施設は、利用者の意見を取り入れながら、利用しやすく親しみのある施設となるよう努めること。
3. 西廻り幹線道路の早期着工・実現、新荒砥橋完成後の第2期工事への取り組みの推進、国道287号下山・菖蒲地内の早期改良の実現をはかること。
4. 道路・水路等の改良や補修は、安全性・緊急性等をもとに優先を付け、早急な対応をはかること。
5. 買い物しやすい環境づくりや、高齢者に優しい交通手段の確保を推進されたい。
6. 町立病院は、健康寿命延伸に向けた検診体制の充実をはかられたい。安心して子どもを産み育てられる環境づくり等の充実を望む。



利用しやすい施設に

## 質疑

定例会は12月5日から13日までの9日間で開催され、令和元年度補正予算7件、条例改正等6件について審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。  
一般質問は2議員が行い、町政全般について問いました。

### 一般会計補正の主なもの

- 町誕生65周年記念事業 287万円  
鮎貝土地区画整理事業にかかる記念碑整備等への対応
  - 光熱水費 200万円  
夏期エアコン使用の実績などへの対応
  - 風しん予防接種事業 31万円  
抗体検査等の補助金
  - 豪雨災害対策費 285万円  
台風19号対応に係る消防団の支援対応
  - 小学校管理費 191万円  
蚕桑小学校、東根小学校、鮎貝小学校の施設修繕・整備工事
  - 農地豪雨災害復旧事業費 5100万円  
台風19号により被害をうけた白鷹揚水機場、雪舟町新田揚水機場の復旧対応
  - 林業豪雨災害復旧事業費 1000万円  
台風19号により被害をうけた小滝線の復旧対応
  - 道路河川豪雨災害復旧事業費 1590万円  
台風19号により被害をうけた荒砥細野線、砂畑野山線等の復旧対応
- など  
※財源は国・県支出金、繰越金などで対応

### 質疑

#### 災害の防止策は

委員 台風19号により2つの揚水機場が被害を受けた。今後、再発防止策を検討するか。  
当局 災害復旧は、被災箇所を被災前の状態へ復旧するものであり、機能強化などは別事業で対応する必要があります。ともに土地改良区の管理施設であり改良区が

主体に検討することになるが、それに対する支援も含めて改良区と協議を重ね検討したい。

#### 光熱水費の補正理由は

委員 光熱水費として200万円計上されているが、その理由は。  
当局 まちづくり複合施設の夏のエアコン使用料などが、想定額よりも増えている状況。その後のエアコン使用

量は下がっているものの、デマンド料金制(※)という契約方法により、使用量が下がっても基本料金がなかなか下がらない。

冬場はチップボイラーを使うが、送風にはエアコンを使うため見通しがたらず、今回の補正措置をさせていただいた。

(※) 過去1年間の最大需要電力により契約電力を決める。



被災した白鷹揚水機場の視察



災害に強い対策を

令和元年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額	
一般会計	2億926万円	92億9113万円	
特別会計	下水道	100万円	6億1729万円
	農業集落排水	2万円	1億7621万円
	介護保険	14万円	18億2067万円
事業会計	病院収益的支出	1500万円	11億9261万円

※万円未満は端数調整

## 条例

### ●白鷹町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定

地方公務員法及び地方自治法等の一部改正により、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について定めるもの。

### ●白鷹町地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定

会計年度任用職員制度が施行されることに伴い、関係条例の整備をはかるもの。

### ●白鷹町区長等設置条例の設定

特別職非常勤職員の要件厳格化に伴い、区長等の身分を明確に位置付けるもの。

下記に賛成討論あり

### ●白鷹町病院事業等に関する条例の一部改正

病院の病床を60床にするとともに、訪問看護ステーションを廃止するもの。

【従来の訪問看護事業は、病院により継続実施する。】

### ●白鷹町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に準拠した一般職の職員等の給与改定を行うもの。

### ●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に準拠した一般職の職員の給与改定に伴い、特別職の職員の給与を改定するもの。

## 賛成討論

…敬意を払う職務である…

白鷹町区長等設置条例の設定に対する

菅原俊一 議員

白鷹町区長等設置条例について、賛成の立場で討論を行います。

総務省の見解によれば、区長等については、行政と地域の連絡調整役が主たる業務と捉えているようであり、特別職非常勤職員として任用できないとの認識が示されました。

しかしながら、本町における区長等の役割は、連絡調整にとどまらず、様々な地域課題に対して地域を取りまとめ、行政と連携し対応していただくなど、重要な役割を担っております。

また、災害時の自助・共助の充実に向け、自主防災組織のリーダーとなつて各地区を熟知



し、共助の要として安全・安心の確保にご尽力いただいております。

このように本町では区長等につきましては、行政組織の一部として大きな役割を担ってきた歴史があり、今後においても、特別職としてふさわしいものと考えます。

条例として新たに設定することは、地域づくりに重要な業務を日常的に行っていたいただいている特別職として、敬意を払う業務と捉えるものであります。

## 第7回臨時議会

10月17日

### ◎鮎貝地区地域交流商業施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
 契約金額 1億3420万円  
 契約の相手方 株式会社 鈴木工務店

議会だより143・144号に関連記事あり

### ◎スキー場圧雪車の取得

取得予定金額 3542万円  
 取得方法 物件購入契約  
 契約の相手方 株式会社 大原鉄工所

議会だより144号に詳細記事あり



録画を配信

# 次期観光交流推進計画の重点は

## 町長 広域での連携で、持続的な観光振興

白鷹町では現在次期観光交流推進計画の策定に取り組んでいる



竹田雅彦議員

### 観光交流推進計画の成果は

**問** 今年度が最終年度となる計画の進捗状況は。

**町長** 入込客数や他の項目も目標に達していない。特に入込客数はニーズの多様化等社会情勢の変化もあり、減少傾向。成果としては、「SHIRATAKA RED（シラタカレッド）」を商標化し新商品開発・販売につながっている。伝統工芸等の担い手不足が課題。滞在型観光で経済波及効果を高めたい必要がある。

### 新計画の重点は。

**町長** 「日本の紅をつくる町の推進」体験観光と町内周遊の推進「魅力発信とインバウンドの推進」

が大きな柱。各関係団体の組織体制の充実、広域での連携をはかり、持続的な観光振興を展開していく。

### 主なイベントの集客数アップの方策は。

**町長** 古典桜は各地区の周遊、紅花は日本遺産や日本農業遺産にも認定されて県内で広域的に取り組む。鮎まつり

りは9〜10月の長期的な取り組みを検討している。新そばは観光客数が増えている。

### 若鮎マラソン参加者に、飲食店や温泉等の割引券導入の考えは。

**町長** ほかの自治体でもあり、関係団体と協議し検討する。

### インバウンド対策

### 外国人観光客の状況や対策は。

**町長** 台湾の旅行会社へのプロモーションを実施。町内のゲストハウスは、約50人が利用した。インターネット等を更に活用し、情報発信していく。

### キャッシュレス化やWiFi環境は。

**町長** キャッシュレス導入は25%弱。WiFi

Fiは観光施設の一部や中央公民館で整備が進んでいる。

### 観光時の安全

### 防犯カメラの設置状況は。

**町長** 公共施設では、20施設78台設置。観光拠点施設にもそれぞれ設置してあるほか、学校、保育園、まちづくり複合施設にも設置している。

### 設置の際の補助制度は。

**町長** 現在は、店舗等で設置の際は、それぞれの責任のもとでの設置となる。商店会等での導入は、ランニングコストもかかるため慎重にご検討いただき、その中で町としてどうか考えさせていただく。



最上川の自然の恵み

観光分野の更なる環境整備の充実を

# 次期行財政改革大綱(※1)の目指す方向は

## 町長 スマート自治体(※2)を見据え、人材育成



録画を配信

白鷹町では現在第6次行財政改革大綱の策定に取り組んでいる

### 活動指標の充実を

問

目的に応じた活動指標を設けているか。

町長

まちづくり座談会では、参加者数を活動指標として町民の皆様の参画機会の拡充をはかってきた

近年は、地域ごとにテーマを設けて議論するものに変化しており、まちづくりにより関心を持つていただけるようになった成果と捉えている。

数値化できる活動指標を基に、客観的な事業評価ができると考えている。第6次において



横山和浩議員

でも、効率的で効果的な指標の設定に努めた

### 情報公開の充実を

問

情報公開への取り組みは十分であったか。

町長

第3次大綱(平成17年度)

では、国の方針に基づき、各種プランの策定と進捗状況の公表が義務付けられ対応してきた。

第4次大綱以降は自治体経営の観点によるものへ転換し、行財政改革推進協議会に報告しながら、必要に応じて

公表を行っている。

第6次大綱は第5次

大綱を継承しつつ、新たな行財政課題に対応するため、情報通信技術(ICT)の活用、働き方改革、公共インフラ維持管理など、新たな視点を取り入れている。策定にあたりパブリックコメントを予定しているが、第5次大綱の取り組み状況や協議会の議事録等も公表しながら意見を伺い、策定を進めていく。

### 人材育成の充実を

問

人事交流など人材育成を今後どのような方針で進めるのか。スマート自治体に向けた職員育成の方針は。

町長

職員の人材育成は、平成15年度に人材育成基本方針を策定し、3年ごとに見直ししながら取り組んでいる。現在は第5

次改訂版により、個々の能力を最大限発揮できるような、チームワークの良い明るい組織づくりを目指している。



### 【用語説明】

- (※1) 行財政改革大綱：限られた行財政資源で、必要な行政サービスを効果的・効率的に提供するための指針。
- (※2) スマート自治体：人口減少が進んでも、行政サービスや住民福祉の水準を維持するための自治体像。

外部組織との職員交流は、平成27年度から30年度まで国との職員交流を行ったほか、県との人事交流や関係団体への派遣も行っている。人的ネットワーク構築や各種課題等について学ぶ有用な機会であり、可能な限り継続して取り組みたい。

理解力や判断力のほか、今後は地域をより良くしていくための想像力や行動力をより一層身につける必要がある。

豊かな人材の育成を

総務厚生常任委員会

総事業費36億2千万円へ

12月10日に委員会が開催され、白鷹町まちづくり複合施設整備事業について説明を受けた。

【整備事業も大詰め】

今年度で完成予定のまちづくり複合施設だが、当初事業費より大幅に増加。

質疑

総工費は

委員 総額でいくらか。

当局 当初は32億2千万円を予定していたが、36億2千万円程になる見込み。4億円、14・4%のアップと見込んでいる。

委員 追加経費は、地震計の移設、外部カメラの増設か。

当局 追加工事はそのとおり。加えて設計から3年経過し、労務費、



さらに使い勝手のよさを目指して



町民への丁寧な説明を

物価上昇分を加味してのもの。

委員 町民への開示は。

当局 工事は1月31日が工期。その他の工事も含め年度内に完了。全体事業費、財源について報告する。

委員 何年で償還か。

当局 過疎債、公共施設等適正管理推進事業債、基金を使用。過疎債は12年、公共施設等適正管理推進事業債は24年で償還。財源と共に町民へお知らせする。

【策定の目的】

子ども子育てを巡る、種々の課題解決を目指す。

質疑

障がい児保育の取り組みは

委員 本町には児童発達支援事業所がない。需要は。

当局 障がい児保育は、主としてひがしね保育園で実施。人数も増えており、他の保育園にもお願いしている。児童発達支援は、療育訓練センターなどの専門的な助言をもらいながら、本人にとって有効な場合は、長井市や山形市の事業所などを利用してはいる。

子ども・子育ての課題解決に向けて

第2期白鷹町子ども・子育て支援事業計画について説明を受けた。

委員 保育所等訪問事業も町外の事業所を利用しているのか。

当局 現状は町外の事業所が必要に応じて訪問指導を行っている。

委員 中学生には、保健師が妊娠出産の話をする「命の教育」を実施。若いうちからの結婚、子育ての意識付けは重要。今後も教育委員会と連携していく。

委員 町内で事業所立ち上げの要望があれば、町として推進は。

当局 先般、相談があった。前向きに検討したい。事業をしていただけるのであれば、できる限り支援したい。

婚活への取り組み

委員 中高生への意識付けをすすめてもらうことも必要では。

当局 中学生には、保健師が妊娠出産の話をする「命の教育」を実施。若いうちからの結婚、子育ての意識付けは重要。今後も教育委員会と連携していく。

障がい児支援のさらなる充実を

- その他
- 第6次白鷹町総合計画 前期基本計画
  - 令和元年度給与改定等
  - 空き家実態調査
  - 新白光園建設状況
- について説明があった。



# 交流人口の拡大なるか

12月11日に委員会が開催され、白鷹町観光交流推進計画の策定状況について説明を受けた。

## 【策定の目的】

人口減少社会で地域活性化をはかるにあたり、交流人口の拡大に寄与する観光の役割は大きくなってきている。ニーズに対応した実践的な施策が必要であるため策定する。

## 【観光交流の現状】

客数は減少傾向にあり、個人旅行が主流になっている。外国人観光客が地方に向けてきており、地域の特徴において差別化をはかる必要がある。

## 質疑

### 各組織の役割は

【委員】 農業、商業、工業等の様々な組織体との合意、役割分担はどうするのか。

【当局】 産業振興戦略会議でも、各組織の代表に説明し承知していただいている。関係機関それぞれの役割を發揮してもらいたいと進めている。

### 数値目標の分析は

【委員】 入込客数の実績が目標値に達していない要因分析は。

【当局】 旅行のスタイルが変わり、個人旅行が中心になってきていることが大きいと思われる。直売所も同様の要因と思われる。



紅花には魅力たっぷり

## 数値目標の達成を

# 所得の向上につながるか

白鷹町6次産業化推進戦略について説明を受けた。

## 【概要】

本町の農産物や資源を活用し、多様な事業者が連携して取り組む6次産業化を推進し、農業所得の向上、食産業の振興、地域活性化、交流人口の拡大につながるため策定する。

計画期間を5年間とし、『SHIRATAK A RED』プロジェクトを掲げ、6次産業化の推進をはかる。

## 【主要プロジェクト】

- ① 商品開発力強化
- ② マッチング力強化
- ③ 販路開拓・拡大
- ④ 人材確保・育成活用

## 質疑

### 人口減少の影響は

【委員】 人口減少により農家も農業従事者も

減っている。6次産業化の中でどう捉えているか。

【当局】 新規就農者の確保にも努力していく必要がある。また、町の資源の加工面における就労ということで、少しでも人口減少を食い止めたい。

### 目指す方向性は

【委員】 パターン毎の計画、成果目標は。

【当局】 今の段階では示すことはできないが、最終的にはひとつの形になるよう取り組んでいきたい。

### 6次産業化のパターン

- ① 農業者が自ら取り組む
- ② 商工業者等と連携して取り組む
- ③ 地域ぐるみで取り組む

## 6次産業化のイメージ



## 早急な具体化を

- その他
- 観光協会の法人化
  - ふるさと応援制度事業
  - 白鷹町都市計画マスタープラン
- などについて説明があった。

全員協議会

# 課税誤り 迅速対応できているか

12月13日に全員協議会が開催され、固定資産税・都市計画税の課税誤り等について説明を受けた。

◆固定資産税・都市計画税の課税誤りについて

発生原因の報告、調査結果、今後の対応について報告があった。

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業の取り組み状況について

補正予算などについて状況説明があった。

◆新荒砥橋架替工事の状況について

進捗報告を受け、現地視察を行った。



巨大クレーンで建設中

## 質疑

議員 還付額の確定に要した時間は、他市町村と比較しどうか。

当局 信頼が失われるという視点から、とにかく12月中に還付額を出さなければならぬと取り組んできた。過年度分については、置賜管内で還付を行っている例はなく、本町がいち早く対応している。

## 質疑

議員 労務単価等の上昇とは。

当局 建設工事請負約款により、条件により変更できる規定がある。4月以降の分を想定している。

## ◆令和元年度給与改定等について

人事院勧告を基準に改定と報告を受けた。

町民の理解を得られる政策を

総務厚生常任委員協議会

# 図書館 効率的運営なるか

11月18日に総務厚生常任委員協議会が開催され、町立図書館指定管理者制度の導入、会計年度任用職員制度について説明を受けた。

◆白鷹町立図書館指定管理者制度の導入等について

直営、業務委託、指定管理など運営方法について検討を行っていること、それぞれの良さがあるため指定管理に限定せず検討している旨の報告を受けた。

◆会計年度任用職員制度の施行に向けて

法律の改正により、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度がスタートする。これにより、臨時・非常勤職員は、一般職の会計年度任用職員として、身分が明確に規定された。制度の施行に向け、条例を整備する旨の報告があった。

◆政策提言について

当局へ政策提言を行うにあたり、総務厚生常任委員会所管事務に関する内容について、議論を行った。昨年の政策提言と当局の取り組み状況をひも解き、その内容に継続性を持たせながら、教育関連など新たな政策提言について協議を重ねた。

## 質疑

委員 図書館と併せて、町民ラウンジほか中央公民館部分について指定管理制度等の導入は検討しているか。

当局 図書館と中央公民館の一体管理により、効率的で魅力ある運営がはかられると考えている。



雰囲気の良い図書館

利用者にデメリットが生じない効率化を

# 知れば得する “ぎかい”のキホン

第3回

## 議会傍聴とは

議会は原則一般にも公開され、自由に傍聴できます。議員の活動や、町政の方針などを実際に見聞きしてください。

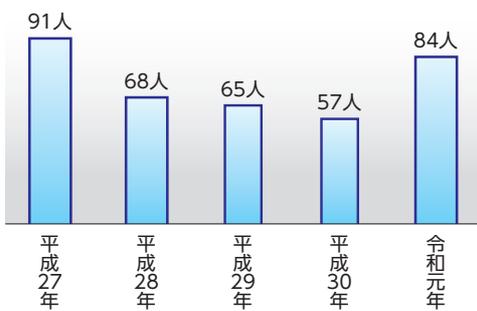
①真剣な姿勢で質問する議員側、②誠実に答える当局側、③傍聴する町民側、全てが整って初めて緊張感のある議会になると思います。

審議する内容は予算・決算・条例改正・人事案件・工事請負契約・取得案件等であり、また、定例会では、議員が町政全般について政策の提言や質問を行う「一般質問」があります。  
基本的に、当局からの提案説明を受け、議員が質疑・質問（前号参照）を行ないます。

説明及び答弁を行う当局側は、町長・副町長・教育長・担当課長等が出席します。

是非、皆さんも傍聴してみませんか。

傍聴者数の推移（年間延べ人数）



年4回の定例会における議場の傍聴者の合計数です。



座り心地の良い椅子です

### 1 議会傍聴の手続き

2階の議場前で、傍聴人受付票に住所・氏名を記入のうえ、係員の指示に従い傍聴席にご着席下さい。

- ※注意事項
- ①携帯電話の電源をお切りください。
  - ②拍手や私語、飲食はできません。静粛に傍聴してください。等

### 2 開催日程

定期的開催される「定例会」と緊急的な招集による「臨時会」があります。定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳細日程については、議会事務局までお問い合わせください。



BRAVA!

11月4日、南陽市のシエルトーなよう大ホールを会場に、荒砥高校吹奏楽部の定期演奏会が盛大に開催されました。近隣の中高吹奏楽部、そしてプロミュージシャンとして活躍するOB 2人をゲストに迎えた演奏は、優しさとワクワクに溢れ、吹奏楽のすばらしさ、音楽の面白さを全身で表現していたように思います。これからも大いに期待しましょう。荒高がっこい！

荒高吹奏楽部、輝く第16回定期演奏会

表紙

と、  
いいづな  
県飯綱町)の報告です。

# 立てます



## 一般財団法人地域活性化センター 令和元年9月18日



### 【研修内容】

○主な事業と会員数

情報提供・調査研究・研修や交流等まちづくりへの助成。地方公共団体など 1,929 団体。

○主な取り組み

社会福祉法人への実習生派遣。自席に縛られない働き方等のオフィス改革。

### 【考察】

オフィス改革は、全国自治体のモデルになるのではないかな。



働き方改革の  
モデルを学ぶ

## 公益財団法人大田区産業振興協会 令和元年9月19日



### 【主な研修内容】

○大田区の製造業を取り巻く状況

工場が激減する中でも高い技術力と加工の分業化で支え合い、ものづくりを続けてきた。

将来にわたり産業のまちとするため「大田区産業のまちづくり条例」を制定している。

### 【考察】

大田区から、これまで継続的に受注が行われている本町の事業所もあり、長年続けてきた大田区との交流継続の必要性を感じた。



日本経済を支えた大田区のものづくりへの誇りを学ぶ

## 《議会運営委員会》長野県飯綱町議会 令和元年10月29日



合併直後、第3セクターが破綻し金融機関から町が裁判を起こされ全面敗訴。議会も住民から厳しい批判を受けた。飯綱町議会は、これを「チャンス」ととらえ、町民に開かれた議会改革に取り組んできた。

### 【主な研修内容】

○政策サポーター制度（テーマを決め、公募し、議論を重ね、提言書をまとめる）  
開かれた議会にするため町民の知恵も借りて政策づくりを進める。町長も提案を積極的に受け止め施策に生かすという基本姿勢がある。提案が具体化された例も多い。

○町民と議会との懇談会（地域別・テーマ別・各種団体など多様な形で開催）  
平成20年からスタートして、平成30年まで合計32か所546人が参加した。

○議会だよりモニター（議会の応援団になってもらうことが目的）  
女性や若者を中心に議員不在地域から人選し、のべ177人。毎回100項目以上の意見・要望・批判等が寄せられる。一部は議会報で回答している。

### 【考察】

町民と向き合い「議会の見える化」に取り組み、意見や要望を町政に反映する姿勢に感銘を受けた。今後の本町議会の活性化のために役立てたい。



菅原議会運営委員長

飯綱町議会  
清水議長

議会改革の先進地から多くを学ぶ

# 研修報告

全議員による研修（9月17日～19日 東京都内）  
議会運営委員会の研修（10月28日～29日 長野）

# 学んだことは役

## 認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター 令和元年9月17日



### 【主な研修内容】

#### ○業務内容

移住相談員による個別相談のほか、地方暮らしセミナー、ふるさと回帰フェアなどを実施。  
全都道府県が取り組んだ回帰フェアには、昨年度 20,686 人が参加した。

#### ○移住希望者の動向

来訪者や問合せ数は 10 年前と比べ、面談・セミナー参加数が 16 倍、電話等相談が 17 倍、セミナー開催数は 10 倍に。利用者も 10 年前は 40 代が大部分を占めていたが、直近では 20 代・30 代が全体の半分を占める。

#### ○移住希望者のニーズ

移住先を選ぶ条件として「就労の場があること」が増加し「自然環境の良さ」は減少傾向。  
「地方都市で企業に就職」が 1 位。「農山漁村で農業」は 2 位。

### 【考察】

全国的に移住者が増加していることを認識した。今後移住に対する価値観も変化していくなかで移住者の動向・ニーズを分析し、本町における移住・定住施策を考える必要がある。



とにかく熱い  
高橋理事長

## 東京インタープレイ株式会社 令和元年9月18日



### 【主な研修内容】

#### ○タブレットによるペーパーレス議会システム体験

全員が実際にタブレットを使い、議場での使用例やそれ以外での活用を学んだ。  
全国の自治体での採用 250 件（年度内見込）。県内では米沢市や朝日町など 5 市町。

#### ○導入効果

「全ての資料が入ったタブレット」が地域住民との対話の潤滑油になり、議会への理解を得られやすい。印刷業務がなくなり通信費や人件費が削減される。

#### ○災害時の効果的な連絡手段

日常的な情報連絡が活発になり、災害時に効果的な連絡手段になる。  
瞬時に被害状況などの共有ができ、不要な電話連絡が減る。

### 【考察】

議会のペーパーレス化が急速に進んでいることを全国の自治体の取り組みから実感した。  
導入している議会への視察を行い、実際の活用方法や効果なども研修する必要がある。  
タブレットを有効活用することで議会活動や町民とのコミュニケーションが大きく広がると感じた。



おっ、これは便利

がどのように活かされ町民の暮らしに反映されているのでしょうか。  
 言書に対する対応状況について」を掲載します。(抜粋)



※1 議会だより 141号参考

# 活かされたのか!?

<p>新荒砥橋の着実な完成、西廻り幹線道路の早期着工、国道287号の早期改良</p>	<p>😊 新荒砥橋は、令和2年度の使用開始に向け早期の完成を国・県に要望していく。</p> <p>※2                  😊 「山形県道路中期計画2028」で西廻り幹線道路は前期調査着手、国道287号は前期の事業着手と明記された。早期着工を国・県へ要望活動を行う。</p>	<p>建設水道課</p> 
<p>区等から『何年要望しても進まない』との声がある道路や、水路補修の施工順序の見える化の工夫</p>	<p>😊 県管理の道路・河川は早期実施を要望していく。町道は交通量や受益者(利益を受ける人)数、緊急自動車の通行等を最優先して、河川や水路は人家への被害予防を最優先で対応。</p> <p>😞 「見える化」は難しいが、限られた予算内で最大限の効果が出せるよう対応する。</p>	<p>建設水道課</p> 

※2 山形県道路中期計画2028：2028年度までの今後おおむね10年間の本県の道路行政の取組方針を示すもの

## ● 提言 3 白鷹町の活性化

提言項目	対応状況	担当
<p>若者や女性の働く場確保、企業誘致、起業支援、近隣との連携による職場の確保</p>	<p>😊 労働環境や多様な働き方への支援策を紹介。</p> <p>😊 企業懇談会で情報交換、女性活躍を進める。</p> <p>😊 奨学金返還支援や起業支援に取り組む。</p> <p>😞 企業誘致は、既存企業を第一に支援する。</p>	<p>商工観光課</p> 
<p>森林・林業の再生へ境界明確化の加速化 町産材の利用拡大</p>	<p>😊 境界明確化事業は年間50銘柄を目標に実施。機器の貸出しや杭の提供など地域と一体となった取り組みで加速化につなげたい。</p> <p>😊 住宅への利用拡大を進めるため町産材使用の建築支援を継続する。</p>	<p>農林課</p> 
<p>東北中央自動車道の開通に伴う受注や、観光を町に誘導する</p>	<p>😞 受注拡大は首都圏中心に実施しているが、道路交通網の利点を発揮しながら新たな拡大を模索する。</p>	<p>商工観光課</p> 
<p>高齢者も買い物しやすい環境づくり推進</p>	<p>😊 移動販売支援や移動手段の確保など、高齢者も安心して生活できる環境づくりに取り組む。</p>	<p>商工観光課</p> 
<p>コミュニティセンターが使い勝手の良くなるような支援</p>	<p>😊 各地域の特性を生かした自主的・主体的な活動や地域の課題解決に向けた取り組みを引き続き支援していく。</p>	<p>企画政策課</p>

# 前回の政策提言は

## ● 提言 1 人口減少対策

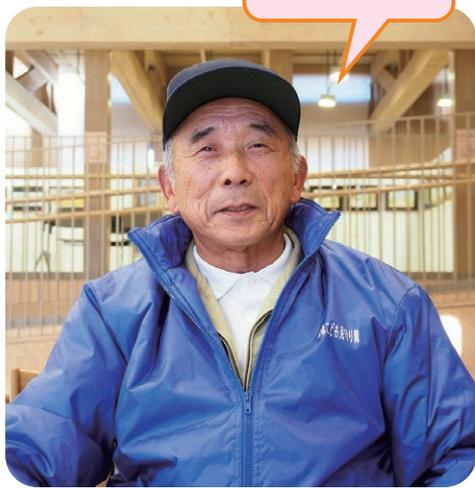
提言項目	対応状況	担当
子育てに対する経済的支援の充実  共働き世帯の増加に配慮した土日や夜間の保育、小児医療等の環境充実、子育て世帯の転入・移住の促進	😊 町内全ての園で0歳児保育を実現。延長や一時預かりなど保護者の勤務形態に沿った支援に努めている。土曜日の給食を充実。 😊 出生祝金の贈呈、第3子の保育料と副食費の無料化、医療費の18歳までの無料化等を継続的に実施し定住人口確保につなげる。 😊 病児・病後児保育に関しては広域的な視点も取り入れながら前向きに検討する。 😞 夜間保育は設備整備や人員確保等、安定した事業を運営するには課題が大きい。	健康福祉課 町民課 教育委員会 
若者等の意見を取り入れた特色ある支援策等による移住定住人口の増加	😊 町内独自の「若者移住定住支援交付金」や「空き家利活用支援交付金」のほか、山形県の制度を活用し移住・定住者の増加に向けた取り組みを行っている。	商工観光課  空き家を活用したゲストハウス (中山地区)
健康寿命延伸に向けた検診体制の充実、子育て世代の医療環境の充実	😊 医療連携の強化をはかり、在宅医療を含めた現在の診療体制を維持充実していくことで安心安全な医療の提供に努める。 😞 産科・小児科は医師不足や偏りが全国的な問題となっており、町立病院としての実現は非常に困難。	町立病院 

## ● 提言 2 安全・安心で住みよいまちづくり

提言項目	対応状況	担当
地域の実情に応じた機動的な除排雪の実施や、高齢者に配慮した除雪体制の確立	😊 各区や事業者へのアンケート結果をもとに地域の実情を把握した除排雪を実施する。 😊 高齢者世帯の雪下ろし助成を継続する。	建設水道課 総務課 
まちづくり複合施設の町民への丁寧な説明、利用しやすい施設の運営	😊 工事の進捗状況や全体計画は、引き続き町広報誌やホームページ等で知らせていく。町民の意見を踏まえ、利用しやすい施設になるよう運営方法の検討も含め対応する。	企画政策課 教育委員会 総務課

 **健全な P (計画) D (実行) C (評価) A (改善) で町民の豊かな暮らしを実現**

子ども達の笑顔  
はいい刺激です



高橋 清吉 さん (荒砥地区)

# ボランティア

## 白鷹の未来を彩る

… 下校時の安心を子供たちに …

下校時見守り活動をしている、荒砥子供見守り隊の高橋さんにお話を伺いました。

### どんな活動ですか

主に小学校の下校時間に合わせて、子供たちの見守り活動を行っています。場合によっては中高生や高齢者の方も見守ります。

### 活動のきっかけは

地域に何か手伝えることがあればと思い、子供見守りが頭をよぎりました。昔は子供を面倒見てくれる人が地

域にはいたたものです。地域ぐるみで子供を育てられればと思います。

### 仲間づくりは

一人ではなかなかできるものではなく、同じ気持ちを持つている人はいないかと、仲間を誘いました。

歩け歩けをしている知人に、週一回でもいので通学路をその時間歩いてもらえないかお願いしました。仲間が仲間を紹介してくれ、現在は12名で活動しています。

### 見守り隊の特徴は

長く継続できるように、気遣いを極力少なくしています。用事などで参加できなくても連絡はしなくてもいいようにしたり、自分のできる時間に気軽に参加してもらったり、自主性を尊重しています。

活動の際、心がけていることは

### 道草をしている子供にも「早く帰れよ」ではなく「家の人が待っているよ」等柔らかく声をかけています。子供達には、いつも見ているよという発信をしているつもりです。また歩きながらや健康づくりしながら等、ながら見守りをしています。それが活動を継続できる一つでもあります。

### 良かったことは

子供達も慣れてきてくれています。子供達の、笑ったり騒いだりしている姿や声はいい刺激にもなっています。逆に子供達にお礼を言いたいくらいです。地域の子供は地域で守る。それを我々が手伝わせてもらっている感じです。学校の先生方からの感謝の言葉も励みになっています。



### 議会へひとこと

議会報のおかげで活動内容がわかるのはありがたいです。活動がわかれば、さらに信頼や期待も高まります。また、議員の方々は我々の代弁者として、すべてのことを分かってもらい、議論してほしいですね。

### 取材を終えて

子供と地域の関係が希薄になりつつある現代社会において、「地域で子供を育てる」ことの大切さを改めて感じました。

(竹田)

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、大型台風が次々と日本列島を襲い、建物の倒壊、河川の決壊・氾濫等甚大な被害が発生しました。当町では人的被害は無かったものの、農業用施設等に大きな被害がありました。

災害は、「忘れた頃にやってくる」と教えられたものですが、最近では「忘れないうちにやってくる」と改めなくてはならないと感じました。

今年も十二支の中でも最初の「ねずみ年」です。そして東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。日本がそして白鷹が飛躍する年にしたいと思います。(金田)

### 広報委員

- 委員長 原 俊一
  - 副委員長・編集長 横 山 和 浩
  - 委員 丸 川 雅 春
  - 委員 竹 田 雅 彦
  - 委員 金 田 悟
- 印刷・長谷川印刷

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

